

れい わ ね ん ど だ い か い く に た ち し じ り つ し え ん き ょ う き か い げ ん だ い か い
令和7年度第1回国立市自立支援協議会全体会

日時：令和7年10月21日（火）午後6時～8時

場所：市役所3階 第1・2会議室

し む き ょ く ま み な さ ま れい わ ね ん ど だ い か い じ り つ し え ん き ょ う き か い げ ん だ い か い
【事務局】 お待たせいたしました。皆様そろいましたので、令和7年度第1回自立支援協議会全体会

かい さい お ち
を開催させていただきたいと思います。

あ ら た ほ ん じ つ し か い し ん こ う つ と し む き ょ く し ゃ く し ょ し え ん か そ う だ ん
改めまして、本日司会進行を務めさせていただきます事務局の市役所しょうがいしゃ支援課相談

し え ん が か り い し か わ も う ね が
支援係の石川と申します。よろしくお願いいたします。

て も と し り ょ う か く に ん て も と ぜ ん ぶ し ゅ る い し り ょ う お ち
まず、お手元の資料の確認でございます。お手元に、全部で6種類の資料がいらっしゃると思いま

す。まずは、次第、参加者名簿。続いて、資料①スクリーニング表、資料②ワーキンググループ（案）、

し り ょ う こ ん こ し り ょ う ち い き か だ い き ょ う ぎ ぶ か い き ょ う く か く ぶ か い き ょ う く ど
資料③今後のスケジュール、資料④地域課題協議部会の記録、各部会の記録がホチキス留めになって

いるものということで、全部で6種類、皆様お手元にそろっていますでしょうか。ありがとうございます。
ます。

す こ じ か ん か あ し お ち こ と し が つ ぜ ん だ い か い
では、少し時間もたっているので駆け足ぎみでいきたいと思います。まず、今年の3月に全体会を

かい さい か ん だ ん ふ か え わ た し は な し
開催させていただいたときの簡単な振り返りということで、私からお話をさせていただければと

お ち が つ ぜ ん だ い か い れい わ ね ん ど ち い き か だ い き ょ う ぎ ぶ か い は じ
思います。3月の全体会のときに、令和6年度からこの地域課題協議部会が始まっているんですけれ

ども、地域の課題というところを、相談支援事業所の皆さんが集まっていたいただいて協議をして、どう

いうところに課題があるのかを明らかにしていこうということで、まずは相談支援事業所のメンバ

一が部会として地域課題協議部会が発足されたところになります。国立市における地域課題を抽出

して、その後、それぞれの課題解決のための部会やワーキンググループを立ち上げるところまでを目指

すというところのもと、活動を開始いたしました。

令和6年度は部会を全3回開催させていただいて、それで今年の3月に全体会を迎えました。その

際に、相談支援事業所の方々がAグループとBグループの2つに分かれて、この地域課題についてス

クリーニングしていこうという話になりました。今どうということに困っていて、どういったことに

問題が生じているのかとか、目指すべき姿、背景はどういったところだろうと。それに対しての

解決策をどうしていこうかというスクリーニングをAとBに分かれてやったと。その途中のところま

でを全体会で報告させていただいて、今後、令和7年度以降は、頻度をちょっと上げて部会を毎月開催

させていただくとともに、AとBの2つに分かれたグループを1つに統合してまとめて、課題、講評、

スクリーニング表を1個にまとめようと。まとめたところから考えていきましょう、スクリーニ

ング表を統合して、ワーキンググループだったりの活動に向けて走り出していこうという話が、前回

の全体会の場で話されたことだったかなと思います。

令和7年度なんですけれども、まず、AグループとBグループの2つに分かれていたそれぞれのグ

ループのスクリーニング表を1つにまとめました。まとめたものがこのA3の資料①ものになりま

す。まとめて分類をして、それぞれジャンルごとに分けて整理をしようというところで、例えばNo.

1のヘルパー不足だったり、No.2の事業所への支援不足と分類に分けて、その分類の中でどういっ

た困りごとがあるのだろうというところを、次の小項目の①から⑧とか、丸がついているナンバリン

グのところでもとめているところになります。

ワーキンググループを^{た あ}立ち上げて、^{じっさい かだい こま}実際その課題、^お困りごと、^{もんだい たい}起こっている問題に対してアプローチ
ちをして^{はなし}いこうという話を^{まいつき}するときに、^{まいつき}どれからやっていけばいいんだろうというところを、^{まいつき}毎月
^{まいつきあつ}毎月集まって^{みな}皆さんで^{はなし}話を^{ひょう お こ}してきたところがございます。それがこの表に^こ落とし込まれているかと
^{おも}思うんですけれども、ワーキンググループ^{こうほ らん}候補の欄にマルがついているところになります。バツがつ
^{べつ ばしょ きょうぎ}いているところは、別の場所で協議して^{はなし で}いったほうがいいよねという話^{はなし}が出ましたので、そのような
^{かたち}形で^{お こ}ここに^{かたち}落とし込ませて^{かたち}いただいている形になります。

スクリーニング表^{ひょう けいゆ}を経由して、その次の資料②^{つぎ しりょう}、ワーキンググループ案^{あん}というA4横^{えー よこ}のものに行き
つ^{しりょう}着きました。資料①^{しりょう}のスクリーニング表^{ひょう なか}の中から3つのテーマ^{た あ}をワーキンググループとして^あ立ち上
げて^{さぎょう}作業をして^{はなし}いこうという話になりました。

^{もくてき}目的のところを^み見て^みいただくと、テーマ^{たいおう}に対応した大項目^{だいこうもく}と小項目^{しょうこうもく}のナンバリングがされている
か^{おも}と思います。例えば、1の登下校^{とうげこう}の実態調査^{じったいちょうさ}であれば、目的^{もくてき}のところの大項目^{だいこうもく}、この大項目^{だいこうもく}という
のは資料①^{しりょう}スクリーニング表^{ひょう}の大項目^{だいこうもく}なので、一番上^{いちばんうえ}のNo.1^{なんばー}、ヘルパー不足^{ふそく}に対応^{たいおう}している形^{かたち}に
なる。小項目^{しょうこうもく}は④⑥^かと書いてありますが、これも④と⑥^みを見て^みいただくと、④^{けこうじこく}の下校時刻^{さだ}が定まらな
い児童^{じどう}の移動支援^{いどうしえん}が受けられないと、⑥^うの特別支援学校^{とくべつしえんがっこう}で、高等部^{こうとうぶ}になるとスクールバス^{じょうしや}に乗車^{じょうしや}でき
なくなり、登下校^{とうげこう}で移動支援^{いどうしえん}を利用^{りよう}したいが見つからないというところ、これらの要素^{ようそ}を深めてワー
キンググループとして^{ようそ}やっていこうということになったのが、1の登下校^{とうげこう}の実態調査^{じったいちょうさ}というテ
ーマになるという対応関係^{たいおうかんけい}になります。

ワーキンググループは案ですので、一応、この半年間でここまで部会としてはまとめさせていただいたところになりますので、今日はそのこの部分の報告、部会の代表の方が構成員の中にいらっしゃいますので、報告をいただいて今後の方向性についての合意形成を図っていければと思っております。

今後のスケジュールとして、資料③も用意させていただきましたので、こちらも御覧いただければと思います。後ほどまた説明をさせていただきます。

では、駆け足になりましたけれども、前回の振り返りはそんなところにさせていただいて、早速、議長をお願いを振らせていただければと思います。前回の全体会から替わられている構成員もいらっしゃるの、そこはまた改めて自己紹介からしていただければいいかと思っておりますので、よろしくお願いたします。

【議長】 前回の全体会で、議長を決めるというところで互選という形の推薦で、私、相談支援連絡会から代表して出ていますたまぶらねっとの笠井が議長を務めさせていただいております。令和4年度から自立支援協議会が真っさらになった状態で始まってきていますので、流れが分かる人がやったほうがスムーズだろうということで、今までは学識経験者の方がなっていたと思うんですが、本当に皆さんと同じ立場で参加させていただいています。そういう意味では、私は学識経験者ではないので、専門的知見から仕切るとか発言できるということがありませんので、皆さんにどんどん積極的に御発言いただいて、皆さんでつくる会にしていければいいなと思っております。

前回からお二人、新しい方が参加されていますので、前回も参加された方は所属とお名前のみ、新しい方は二言三言、自己紹介していただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【構成員】 相談支援事業所ハッピーテラス国立駅前の三浦と申します。地域課題協議部会の構成員

として参加させていただいています。よろしくお願いします。

【構成員】 今回から参加させていただきます多摩立川保健所の地域保健担当の保健師で、鈴木と申

します。地区保健所は20年ぶりぐらいに着任で、もう本当に初めてなので、ぜひ一から教えていた

だきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

【構成員】 くにたちしきょういくいいんかいしどうだんとうかちょう 小島と申します。よろしくお願いします。

【構成員】 福祉作業所天成舎の石原と申します。生活介護と就労継続支援のB型をやっております。

【構成員】 くにたち発達支援センターの施設長の山本と申します。前回に続いて参加させていただきます。

【構成員】 SPJの風間と申します。しょうがいしゃ団体等関係者として参加します。よろしくお願いします。

【構成員】 現職は東京都の生活サポート協会の理事をやっております藤田と申します。学識経験者

というカテゴリーではありますけれども、私は実践のほうに限りなく近寄るアドバイスができれば

いいのかなと思っております。よろしくお願いします。

【事務局】 構成員の皆さん、自己紹介をありがとうございました。事務局のほうも自己紹介を簡単

にさせていただければと思います。

(事務局自己紹介)

【事務局】 オンラインで参加されている方が2名いらっしゃいますので、その2名の方にも自己

しょうかい おも
紹介をしていただきたいと思います。

こうせい いん きん む ほんじつ さん か しつれい
【構成員】 ケアサポートあすなろで勤務させていただいております。本日オンラインにて参加で失礼
いたします。よろしくおねがいいたします。

こうせい いん しょうがいしゃ しゅうぎょう せいかつ せん あら き もう ほんじつ
【構成員】 障害者就業・生活支援センター、オープナーの荒木と申します。すみません、本日イ
ンフルエンザにかかりまして、自宅でちょっとだらしない格好をしているのでオンラインとさせてい
ただいておりますので、よろしくおねがいします。

じむきょく ぎちよう かえ
【事務局】 ありがとうございます。議長にお返しいたします。

ぎちよう ぎだい はい ちい き かだい きょうぎ かい かつどう ほうこく みうら ねが
【議長】 では、議題に入ります。①地域課題協議部会の活動報告を、三浦さんからお願いします。

こうせい いん れい わ ねん どのちい き かだい きょうぎ かい ほうこく だい かい がつ にち
【構成員】 それでは、令和7年度地域課題協議会の報告をさせていただきます。第1回の4月16日
から第7回の先日の10月15日まで活動した内容を報告させていただきます。

さき いしかわ ふ かえ おな ないよう
先ほど石川さんが振り返りとしておっしゃっていたことと同じような内容になってしまうんです
が、前回の3月の全体会の内容を踏まえまして、4月から毎月1回部会を開催して、現段階で立ち上
げたワーキンググループを3つに絞り込んだことを報告します。

えーはん びーはん わ ひょう ふんるい せいり なお じりつ
A班、B班に分かれていたスクリーニング表を1つにまとめて、分類ごとに整理し直し、この自立
支援協議会で取り上げるべき課題かそうでないか仕分けをしました。この中の優先度の高い、困って

ひと おお かつどう はじ きょうぎ しりょう
いる人が多いものから活動が始められるように協議してまいりました。資料②にありますように、1

とうげ こう じつたい ちようさ みりょく はっしん さべつ りかい ふそく かいし ょう
の登下校の実態調査、2のヘルパーの魅力発信、3の差別・理解不足の解消、この3つのワーキング
グループを立ち上げ、動き出したいと考えております。

1の登下校の実態調査は、1人で移動することが困難な小中高生の登下校に関する困りごとを解決

するために、まず実態を受け明らかにすることを目的としています。スクリーニング表の大項目ヘルパ

ー不足の中の小項目④下校時刻が定まらない児童の移動支援が受けられないと、⑥特別支援学校で、

高等部になると、スクールバスに乗車できなくなり、登下校で移動支援を利用したいがヘルパーが見

つからないという部分が該当します。対象は小1から高3の全員として、かつ1人での登下校に不安

がある方とします。ワーキングメンバーに想定しているのは、教育委員会などの学校関係者の方々、

あとは調査ノウハウを持っている人、数年前に登下校問題の解決のために陳情提出に関わった

保護者の方々、あとは特別支援学校や特別支援学級の保護者の皆様、そのほか部会のメンバーを考

えております。活動方法としては、アンケート調査や聞き取りを考えています。

2のヘルパーの魅力発信は、しょうがいしゃを支援するヘルパーの仕事の魅力を伝えることで、ヘ

ルパーになりたい人を増やすということが目的です。こちらはスクリーニング表、大項目ヘルパー

不足の小項目⑧福祉業界の求人に応募が来ないが該当します。対象は国立市民全体で、ワーキン

ググループメンバーには、社協、ヘルパー事業所、当事者（ヘルパーを利用する側の方々）、あとは

部会のメンバーを考えております。方法としては、ヘルパーの仕事が持つ魅力ややりがいを伝えるた

めの様々な啓発活動を行うことを考えております。Aとして、ビジュアルを用いた発信や紙媒体、

イベントや研修の実施などの案も出ています。

3の差別・理解不足の解消ワーキンググループは、まず、交通の中のバスに的を絞って、しょうが

いのある方が安心してバスを利用できるよう、しょうがい理解を深めるための協力をバス会社に

いらい ほうほう いっしょ けんとう もくてき ひょう
依頼し、方法などを一緒に検討するということを目的としました。こちらは、スクリーニング表、

だいこうもくさべつ りかいぶそく なか しょうこうもく しな い ろせん りょうじ うんてんしゅ したう しょうがいしゃ
大項目差別・理解不足の中の小項目②市内の路線バス利用時に運転手に舌打ちをされた、④障害者

み ひと あつか いや がいとう たいしょう とうじしゃ かぞく しえんしゃ
として見られたくない人、扱われるのが嫌だが該当します。対象は、当事者、家族、支援者、バス

かいしゃ しんたい せいしん ちてき とうじしゃ めい りょう
会社です。ワーキンググループメンバーには、身体、精神、知的の当事者2名ずつ、バスを利用して

こま けいけん かたがた くわ おも
困った経験のある方々をワーキンググループに加わっていただきたいと思います、ワーキンググループ

くわ おも ぶかい せんてい よてい かつどうほうほう
に加わることができそうかなと思う部会のメンバーがそれぞれ選定する予定です。活動方法としては、

じぎょうしりょうしゃ し あ き と おこな いけん き かい
ワーキンググループメンバーが、事業所利用者や知り合いから聞き取りを行ったり、意見を聞く会を

かいさい しほう りょう ちょうさ こま しゅうやく うえ かいしゃ はな あ ば もう
開催したり、市報を利用したアンケート調査で困りごとを集約した上で、バス会社と話し合う場を設

けるとしています。

いじょう かみはんき かつどう ないよう ほうこく まいつき かいごう
以上、上半期の活動の内容をコンパクトにまとめて報告させていただきました。毎月の会合では

ぶかい ない いしきとういつ ほうこうせい かくにん おお じかん つい ほんじつ ぜんたいかい かいこう かつどう じんぞく かいし
部会内の意識統一から方向性の確認にも多くの時間を費やし、本日の全体会以降、活動を迅速に開始

もくひょう はし た あ
していくことを目標として走ってきました。それぞれのワーキンググループ立ち上げについては、

ほんじつ ぜんたいかいこうせい いん みなさま いけん うかが あ すいこう かつどう はんえい かんが
本日の全体会構成員の皆様のご意見を伺い、明日以降の活動に反映したしていきたいと考えており

ます。

せいちょう
ご清聴ありがとうございました。

ぎちょう みうら まいつきぶかい みな りょう しりょう よ
【議長】 三浦さん、ありがとうございました。毎月部会がありまして、皆さんもこの量の資料を読

こ たいへん おも
み込むのはとても大変だったと思います。

はじ さき もう わす かい いいんかい しんぎかい いしかわ
まず初めに、先ほど申し忘れてしまったのですが、この会は委員会とか審議会ではないので、石川

さんがさつきこうせいいいん構成員と呼ばれていましたけれども、さんづけでいいということで聞いておりますので、さんづけで呼ばさせていただきます。

それでは、何かご質問なに しつもんやご意見いけん、感想かんそうなどがあつたら出していただきたいんですが、いかがでしょうか。

【構成員】 ちょっと1個確認で、1の登下校の実態調査というところで、ワーキンググループのメンバーのところに、数年前に登校問題の解決のための陳情提出すうねんまえ とうこうもんだい かいけつ ちんじょうていしゆつに関わった保護者かか ほごしゃとなっているんですけれども、これはこういう限定げんていをかけるという話はなし なんです。何でも、何でこういう質問をしたかという、こういう条件じょうけんがなければこのワーキンググループのメンバーにはなれないという捉え方をするのであれば、陳情を出した人というところが前提ぜんていになってしまうんですけれども、多分この方たちも、保護者であるということであれば、別にわざわざ陳情を出した方というふうに書かなくても、保護者ということでもいいのではないかなと思うんですけれども、ちょっとそここのところが分からないので教えてください。

【事務局】 確かに保護者ではある。ただ、既にもうお子さんが卒業されている保護者も含まれているように思います。それと、ワーキングメンバーみんなで、人数があまり多過ぎても動きにくいと思うので、人数をあげて、具体的にどの方をお誘いしようかという話をしたときに出了たので具体的に書いてありますが、この登下校問題に関心のある方という意味で、このときにこのようにしました。

【構成員】 そうであれば、関心のある方というふうに記載したほうがよろしいかなと私は思うんですけれども、ちょっと皆みなさんのご意見いけんがどうかというのはあるんですけれども。

【議長】 この件について何かご発言はありますか。多分、議論をより具体的に、経験も含めて話せ

る人が入っていたほうが、よりスムーズかなというところで、メンバーに入っているのかと思います。

【構成員】 誤解のないように、入っていただくのは全然構わないかと思うんですけども、限定を

かけてしまうような表現、要するに、陳情を出したからこの会に入れますというような受取をさ

れてしまうところがあって、あくまで陳情は願いを出しているだけです、それが全てそのとおり

ですというわけでもないというのは当然あるかと思うので、そこをこういうワーキンググループ

のメンバーにこういう方々が入りますというところに記載しなくてもいいのかなと思っていたので、

関心がある方とか、もう少し柔らかめの表現のほうがよろしいのではないかなと思ったので、今そう

いう御意見というか、お声をいただきまして私はそういうふうに思ったので、皆さんがどうかという

のはありますので、そこは確認したほうがよろしいかなと思います。

【構成員】 構成員なんですけれども、一応部会のメンバーでもあるということで、このときの陳情

というのは、特別支援学校ですので、都教委に対しての陳情なんですね。都教委にPTAが年に一度、

陳情する機会があるんです。そのときに、都教委に陳情したメンバーであれば、多分、東京都がど

ういうふうに答えているかも聞いているということで、より具体的に解決策に近づけるのではないか

ということだったと思います。

【事務局】 今、確かにお話を伺っていて、こういう表における書き方としては、関心のある方と

いうふうにして、実際はどういう方が関心があるんだろうと思ったときに、陳情を出した方というの

が出てくるかなとは思いますが、こういうところに書くときは関心のある方でよいかと聞いていて思

いました。

【議長】 事務局のほうで、ほかにいかがですか。大丈夫でしょうか。

【事務局】 はい。

【議長】 それでは、ここは修正していくような感じでしょうか。

津田さんが見えになりましたので、ちょっと自己紹介を簡単にお願いいたします。

【構成員】 改めまして、皆様、こんばんは。遅れてすみません。実は今日、民生委員会の視察です

と今まで出かけておりまして、何か事故があって一般道で帰らなくてはということで遅参してしま

いました。大変申し訳ございません。また、私、今年の7月4日から社会福祉協議会の事務局長にな

っております。初めての部分でありますので、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます

ます。

【議長】 ありがとうございます。

それでは、ほかにご意見、ご質問いかがですか。オンラインで参加の方々もいかがでしょうか。

【構成員】 この具体的なテーマを取り上げたのは、登下校させている保護者の皆さんにとってはと

ても関心の深いところであり、様々な困りごとを抱えていたり、私も実は、もう相当前になりますけ

れども、その頃は養護学校の教員をやっております、児童生徒、小学部の児童はほとんどがスクー

ルバスだったんですけれども、中学1年ぐらいから少しずつ自主登校というものを始めていて、

御自宅からお母様が、最初は電信柱の1本、それが2本、それが3本というふうに行って、バ

ス停まで行ける。その次にいろんなスモールステップでできてきて、それが1つの教育的な本人に

自主的な通学の力を、そして社会的なマナーも学ぶ機会であるというような捉え方でやっています

た。今の時代の中で、例えば共働きの家庭が増えたりしていると、そこもなかなか親御さんのサポート、フォローができませんというところが、昔に比べればはるかに多いと思われるので、具体的なそ

うした要望をどのように解決すればいいのかという着眼点はとても現実的であり、いいことかなと

思います。

このワーキングメンバーの中に教育委員会などの学校関係者とありますけれども、実際にそういう

ふうなスクールバスから降りてもらおうというような指導というか、方向で取り組まれている学校

関係者も必ず入れてもらったほうがいいのではないかなと思います。

【議長】 特に教育委員会の方、学校の方ということで項目が挙がっているんですが、その点は小島

さん、いかがでしょうか。

【構成員】 どこまで考えるかというところは正直あるかなと思うんですが、国立市立学校

の場合だと、スクールバスはまずないので、市立学校の先生方、もちろん管理職がワーキンググルー

プに入ったほうがいいのか、それとも、どこまで考えるかというところなのかなというふうに思っ

ています。要するに、市内の中でも移動まで含めて考える必要があるのか、多分、今のお話の前提だ

と特別支援学校の話だと思えるんですが、どこまでそれを広げるかという、将来的なところで

市内の例えば特別支援学級に、例えば今、知的固定級の場合ですと特に学区は設定していませんので、

場合によっては泉のほうから一の中に通うということもあるんですね。この場合に、送迎のところま

で含めて考える必要があるのか、どこまで話を、ちょっとまとめられなくて大変申しわけないんで

すけれども、今このお 話 は、特別支援学校の送迎の部分結構大きいのかなと 私 は捉えていたんで

すけれども、その対 象 としている範囲をどこまで広げるのかというところが、ちょっと 私 は今、

み 見えてこないかなというのがあるんです。ちょっと関係する方にそこはコメントをいただきたいと思
います。

【議長】 これはアンケートという方法が描かれていますが、この対 象 をどういうふうに 考 えてい
るかということも影 響 してくると思うので、その辺は議論されていますので、事務局のほうでお願い
していいですか。

【事務局】 まず、アンケート調査ということですので、対 象 が市内の小学校 1 年生から小学校 3
年生の全員とし、かつ 1 人で登下校に不安のある方を対 象 にしていますので、まず何にお困りがある
のか、そのことをきちんと把握しましょうということから始まりますので、どこからどこまでという
ふうに決めておりませんで、困っている方、全てが対 象 というふうに 考 えております。

【構成員】 困っているというのは人それぞれ様々かなと思っていて、今のお 話 ですと、例えば市内

全員、要するに児童生徒4500人ぐらいいますので、子どもに聞くのか、保護者に聞くのか。多分、

子どもに聞くとすると、登下校に困っているというふうになったら、不安といった場合に、例えば歩

くことが困難でという不安の部分と、あの子と行くのが嫌ですという不安の部分と、様々な不安が多分

で 出てくるかなと思っています。これは小学校 1 年生を想定した場合ですけれども、その意図が理解で

きる、例えば小学校 4 年生、5 年生、6 年生、中学生とかであれば、多分不安というところは、自分

で学校に行くまでの不安、それは移動することが困難ですというところの不安になってくると思うん

ですけれども、そういう意味で、もう少しはっきりとしていかないと、やみくもに全員に、4500人

に聞きますといったときに返ってくる回答が様々で、多分その収集、分類がすごく大変なのかなと

思うので、もう少し何か具体的にしたほうがいいのかなと。

例えば特別支援学級とか特別支援教室とか、通級指導できこえとことば教室を利用する方もい

らっしゃいますので、そういう方に限定をかけて調査をしていくのか。それとも、そうではなくて、

今移動に関しては特にということであれば、全員に聞いてしまう。子どもの実態によって答えられる、

答えられないというところもあるので、ちょっとそこのところもう少し具体的にになったほうがいい

のではないかと、私は今の話を聞いて思うところもあるんです。

【議長】 今4500人という話でしたけれども、小学校1年生から高校3まで。

【構成員】 中3までです。

【議長】 中3までが約4500人ということですね。事務局のほうで何か補足はありますでしょう

か。

【事務局】 地域課題協議部会を運営するに当たって全体的な話になるんですけれども、ワーキング

グループを立ち上げるに当たって、どこまで絞った状態でワーキンググループを立ち上げるかとい

う線引きの話に今の御指摘は当たるかなと思っておりまして、少し幅のある中で、ワーキンググルー

プで集まって、どこに焦点を当てようというところは、ワーキンググループで考えていくというイ

メージでいたんですけれども、全体会からもう少し絞るようにというお話ですと、地域課題協議部会

にて、もう少し絞った上でワーキンググループを設置するとなっていくかと思うんですが、そのあた

りを^{しめ}お示しいただけると、^{こんご}今後の^{ちいきかだいきょうぎふかい}地域課題協議部会^{うんえい}の運営をどのようにしていくのがいいの^{さんこう}かの参考

にさせていただけるんじゃないか^{かん}と感じました。

【議長】^{ぎちょう} 示す^{しめ}というのは、どなたからですか。

【事務局】^{じむきょく} 全体会^{ぜんたいかい}から御意見^{ごいけん}を^{ちいきかだいきょうぎふかい}いただいて地域課題協議部会^{うんえい}を運営^{おお}していくという大きな枠組み^{わくぐ}で

やっている^{いま}ので、今の^{しほ}絞り方^{かた}である^{いけん}というご意見^{かん}を^{いけん}いただいているんじゃないかなというふう^{かん}に感

じたので、もう一度^{いちどしほ}絞り直し^{なお}をした^{はなし}ほうがいいですよという話^{ちいきかだいきょうぎふかい}でしたら、地域課題協議部会^{うんえい}をもう

一度^{いちどかいさい}開催^{すこ}して、もう少し^{しほ}絞りましようという話^{はなし}になりますし、この^{かん}ぐらいの^{すす}感じで進めていってくだ

さい^{はなし}という話^たになると、この^あままワーキンググループ^{はなし}を^{はなし}立ち上げようという話^{はなし}になってくるのでは

ないかなと^{じぶん}自分^{なか}の中では^{せいり}整理^{じむきょく}した^{かた}んですけれども、ほかの事務局^{かた}の方もそれでよろしいですか。

【事務局】^{じむきょく} 今回^{こんかいしりょう}資料^{くば}でお配り^{あん}したワーキンググループ^{だいしやう}案^{おお}の対^{しょう}象^{こう}という^{おお}のは、大^{しょう}きく小^{しょう}1から高^{こう}3

全員^{ぜんいん}というふう^{なか}に、その^り中で1人^{とうげこう}の登下校^{ふあん}に不安^{かた}のある方^かという書き方^{かた}をしています^{いぜん}が、それ以前^{いぜん}に

いろいろ^{ふかい}部会^{ない}内で協議^{きやうぎ}をしていて、全員^{ぜんいん}に^{とくべつしえんがっこう}しょうか、それとも特別支援学校^{とくべつしえんきゆう}、特別支援級^{ざいせき}に在籍^{ざいせき}して

いる方^{かた}を対^{たいしやう}象^{いっばんきゆう}に^{ざいせき}しょうか、あるいは一般級^{いっばんきゆう}に在籍^{ざいせき}だけれどもスマイリーサポート^{つか}を使^{かた}っている方も

いる、あるいは、一般級^{いっばんきゆう}在籍^{ざいせき}で放^{ほう}デイ^{りやう}を利用^{かた}している方もいる。その^こ子ども^{ふく}を含^{ふく}めようか、それとも

手帳^{てちやう}や支給^{しきゆう}決定^{けつてい}がある小^{しょう}1から53^{ひと}の人^{だいしやう}たちを対^{すこ}象^{くたいてき}に^{あん}しょうかとか、少し^で具体的^{あん}には案^でが出ていて、

それ^{かくにん}らをワーキンググループ^{すす}のメンバー^{かんが}で確認^{かんが}して進めていこうというあたり^{かんが}を考^{かんが}えてはいました。

なので、そういうことであるなら、その^{ない}ワーキング^{げんてい}内で限定^{すす}して進めていってくださいというこ

とであれば^{いま}そうして^{じむきょく}いきますし、そこを^き今^きちょっと事務局^きのほう^きでお聞^ききしたいというところ^きです。

【議長】^{ぎちよう} 今^{いま}まで対^{たい}象^{しょう}者^{しゃ}はいろい^ろろ議^ぎ論^{ろん}はあ^あっ^った^たん^んです^すけ^けれ^れど^ども、ど^どち^ちら^らか^かとい^いう^うとど^どん^んど^どん^ん広^{ひろ}が^がっ

て^てい^いっ^った^たとい^いう^うか、今^{いま}ど^どん^んな^な困^{こま}り^りご^ごと^とが^があ^ある^るの^のか^か実^じ態^{たい}を^を知^しり^りた^たい^いとい^いう^うと^とこ^こが^がメ^ひイ^ろン^でで^で広^{ひろ}が^がっ^った^たと

い^いう^う経^け緯^いが^があ^あっ^った^たか^かと思^{おも}い^いま^ます。そ^それ^れだ^だと^とち^ちよ^よっ^っと^と漠^{ばく}然^{ぜん}とし^し過^すぎ^ぎて^てい^いる^るとい^いう^うこ^こと^とで^でし^しょう^うか。

^すず^き 鈴^に木^にさ^ん、何^なか^にあ^あり^りま^ます^すか。

【構^{こう}成^{せい}員^{いん}】 そ^そこ^この^のあ^あた^たり^りが^が全^{ぜん}然^{ぜん}疎^そい^いも^もの^ので、最^{さい}初^{しよ}、保^ほ健^{けん}所^{じょ}で^で関^かわ^わっ^って^てい^いる^る全^{ぜん}体^{たい}じ^じゃ^あな^ない^いこ^こと^とが^が多^おく

て、今^{いま}ま^まく^く答^{こた}え^えら^られ^れな^ない^いん^んで^です^すが、調^{ちょう}査^さを^をし^した^たと^とき^きに、や^やっ^っぱ^ぱり^りま^まと^とめ^める^るこ^こと^とを^を考^{かん}え^える^ると、あ^ある

程^て度^い、何^{なに}を^を知^しり^りた^たか^かっ^った^たか^かな^なとい^いう^うと^とこ^こを^をも^もう^う1^い回^{かい}整^{せい}理^りし^して^て絞^{しぼ}っ^って^てい^いか^かな^ない^いと、ど^どん^んど^どん^ん散^{さん}漫^{まん}に^にな

っ^って^てい^いく^くの^のは^はど^どの^の調^{ちょう}査^さで^でも^もあ^ある^るか^かな^なと思^{おも}っ^った^たの^ので、そ^そこ^この^のあ^あた^たり^りち^ちよ^よっ^っと^と絞^{しぼ}る^るとい^いう^う、ど^どこ^こを^をとい^いう

こ^こと^とは^は今^{いま}答^{こた}え^えら^られ^れな^ない^いん^んで^です^すけ^けれ^れど^ども、絞^{しぼ}る^るとい^いう^うと^とこ^こが、ま^まず^ず本^{ほん}当^{とう}に^に困^{こま}っ^って^てい^いる^る人^{ひと}は^は誰^{だれ}な^なん^んだ^だろ

う^うとい^いう^うと^とこ^こを^を確^{かく}認^{にん}し^して^てい^いく^くの^のは^はい^いか^かが^がで^でし^しょう^うか^かぐ^ぐら^らい^いし^しか^か言^いえ^えな^ない^いん^んで^です^すけ^けれ^れど^ども、す^すみ^みま^ませ

ん。

【議^ぎ長^{ちよう}】 あ^あり^りが^がと^とう^うご^ござ^ざい^いま^ます。

【構^{こう}成^{せい}員^{いん}】 そ^そも^もそ^そも^もに^にな^なっ^っち^ちゃ^ゃう^うん^んで^です^すけ^けれ^れど^ども、大^{おお}き^きな^な分^{ぶん}類^{るい}、ヘル^ふパー^{そく}不^ふ足^{そく}とい^いう^うと^とこ^この^の分^{ぶん}類^{るい}

に^に分^わけ^けら^られ^れる^るか^かな^なと思^{おも}っ^って^てい^いる^るん^んで^です^すが、こ^これ^れと^と今^{こん}回^{かい}の^の登^{とう}下^げ校^{こう}の^の実^じ態^{たい}調^{じょう}査^さとい^いう^うの^のが^が結^{むす}び^びつ^つい^いて^てい^いか

な^ない^いとい^いう^うか、多^た分^{ぶん}、議^ぎ論^{ろん}し^した^た皆^{みな}さ^さん^んの^の中^{なか}で^では^は結^{むす}び^びつ^つい^いて^てい^いる^るの^のか^かも^もし^しれ^れま^ませ^せん^んけ^けれ^れど^ども、こ^この^の調^{ちょう}査^さ

を^をや^やれ^れば^ばヘル^ふパー^{そく}不^ふ足^{そく}を^を解^{かい}消^{しょう}で^でき^きる^るの^のか^かとい^いう^うと^とこ^こが、ず^{ぼく}っ^っと^と僕^{なか}の^の中^{ちゅう}で^でい^いま^まい^いち^ちピン^{ピン}と^とこ^こな^ない^いと

い^いう^うか、分^{ぶん}類^{るい}と^とか^かけ^け離^はれ^れて^てい^いる^るよ^よう^うな^な気^きが^がす^する^るん^んで^です。

も^もう^う一^{ひと}つ、ヘル^ふパー^{そく}不^ふ足^{そく}か^から^らの^の登^{とう}下^げ校^{こう}の^の実^じ態^{たい}調^{じょう}査^さと、スク^{ひょう}リー^{しょう}ニ^にン^{だん}グ^{だん}表^{ひょう}の^の上^{じやう}段^{だん}の^のほ^いう^{どう}は^{しえん}、移^い動^{どう}支^し援^{えん}

の課題が幾つか散見されているような気がするんだけど、テーマになっちゃうと登下校の問題と

いうふうになっているというのが、結局どこに焦点を当てているのかがちょっとまいち、全体的

に見えなくなっているような気がして、ちょっと質問しました。

【事務局】 部会でいろいろ協議した中で、これらのスクリーニング表を基にどんなワーキンググル

ープを立ち上げていこうかと話をしたときに、ヘルパー不足という大項目の分類は、もうみんな何と

かしなくちゃいけないと思いました。ヘルパー不足といっても、ここに挙げられただけでも内容はい

ろいろあるし、本当いうともっといろいろある。でも、みんなで話しているうちに、子どもというこ

とで1つまとめられないかというようなことが出てきました。

例えば②の週末タ方の移動支援が見つからないというのは、子どもに限らないことで、大人の方た

ちも足りないんですけれども、とにかくどこもかしこも足りないので、話していたときに、子どもが

利用する移動支援で登下校というふうになっていったんですね。何かあまり広げ過ぎないで、1つ絞

ってのこともありました。

あと、話している中に、例えば移動支援のヘルパーが見つからない、だから母親が送ってかなくて

はいけない。結果、母親の就業が制限されるとか、そういう経験がありますかと聞こうとかか、か

なり具体的な質問項目とかもいろいろ出てきたんですけれども、逆にそうやって限定するのではな

くて、登下校のときに、移動支援のヘルパーが見つからなくて困っていることはないかという形で、

まずは網羅的な実態調査をしよう。その上で、そこから見えてきたものを次の段階で解決に向けて動

こう、そんなことを話しました。ということで、このワーキングをやろうというふうになりました。

【議長】 これは期間が1年間なんですが、その後が続く、ちょっと本腰を入れるような課題だとい
うところだったと思います。

【構成員】 ありがとうございます。

【構成員】 先ほど事務局の方から、全体会から制限をかけるのかというお話 がありましたが、私個人
の意見としては、まず、現場のワーキンググループに携わっておられる方が、現状にかなり精通し
ておられるので、まずその方たちに委ねて、ある程度、目星がついておられると思うんですよね。調査
対象、領域というのは。なので、まず開始していただいて、まずしないとどういうことかが分から
ない。こちらから制限をかけてしまうと、現場とのそごが生 じることがあるのかなと思って、実態を
反映するには、現場の方にある程度委ねて、全体会としてはそれを見守るというのがいいのかなと思
いました。

【議長】 どのように進めたらいいんでしょうかね、これは、もう1回だけ整理していきますか。

【構成員】 この目的のところ、ヘルパー不足があるのではないかと仮説の下に多分この話
を進めているのかなと、そういう状 況 があるんじゃないか、だから実際の子どもたちの声なり、
保護者の人の声を聞かなければ、それが仮説が裏づけられるかどうか分からないんじゃないですか
という前提でこの調査をするのかなというふうに、私 はそう勝手に解 釈しているんです。

そうすると、もう必然的に対 象は決まっていて、ヘルパーを必要としているような方々が調査対 象
なのかなと、私 はそう感じました。なので、例えば全4500人の子どもたちに聞く必要というのは、
そこまではないのかなと思っているので、そうすると対 象が例えば小学校1年生から高校3年生ま

での特^{とく}別^{べつ}支^し援^{えん}学^が校^{っこう}に在^{ざい}籍^{せき}して^こいる子^こども、保^ほ護^ご者^{しゃ}、または特^{とく}別^{べつ}支^し援^{えん}学^が校^{っこう}、あ^とは、そ^の他^た移^い動^{どう}に困^{こん}難^{なん}

を^か抱^かえて^かいる方^{かた}、それ^がど^なた^とい^うの^は直^ち接^{よく}分^{せつ}か^らな^いん^です^けれ^ども、そ^うい^った^方を^対象^{しょう}に

し^て、ど^こに^こ困^まら^れて^いる^のか。

た^だ、こ^の場^ば合^{あい}は、隠^{かく}れ^て実^{じつ}は^{ひつ}要^{よう}と^して^いる^んだ^けれ^ども、な^かな^か手^てを^あ挙^きげ^られ^ない、気^きづ^い

て^もら^えな^かっ^たと^いう^人が^ちょ^とと^ぬ抜^ぬけ^てい^って^しま^うと^ころ^があ^るん^です^けれ^ども、た^だ、そ^れ

を^さ探^{さが}そ^うと^する^とや^っぱ^り全^{ぜん}調^{ちょう}査^さを^かけ^るし^かな^いと^いう^状況^{きやう}が^ある^ので、そ^れは^それ^でま^たア^ン

ケ^ート^がす^ごく^難し^くな^るか^なと^おも^って^いる^とこ^ろも^ある^ので、ひ^とと^まず、ヘ^ルパ^ー不^ふ足^{そく}で^すと^いう

仮^か説^{せつ}を^検証^{けんしやう}す^るた^めに^実際^{じっさい}ど^うな^のか^なと^いう^とこ^ろを^ター^ゲッ^トと^して^しぼ^り絞^{ぢよう}っ^て調^{てい}査^さを^かけ^てい^き

な^がら、も^うち^ょっ^とこ^こま^で広^{ひろ}げ^られ^そう^だと^いう^のを²段^{だん}階^{かい}目^めで^広げ^て、も^うち^ょっ^と潜^{せん}在^{ざい}的^{てき}な

も^のを、ニ^ーズ^とし^て捨^すて^てい^くの^かと^いう^とこ^ろの^やり^方で^私は^いい^のか^なと^いう^ふう^には^おも^う

ん^です^けれ^ども。

あ^まり^{さい}最^{しよ}初^ぞから^{ぜん}全^{たい}体^{たい}で^とな^ると、私^わた^しの^ふあ^ん不^ふ安^{あん}は、こ^うい^うも^のは^ぜっ^たい^わた^し私^しど^もの^とこ^ろを^{けい}じ^ゆ経^{けい}由^ゆし^て学^が校^{こう}

に^ちょう^さ調^{てい}査^さを^かけ^るの^で、学^が校^{こう}の^ふあ^ん不^ふ安^{あん}と^いう^か、こ^れは^何で^すか^とい^うと^ころ^と、こ^の質^{しつ}問^{もん}が^な投^なげ^られ^ても

小^{しょう}学^{がっこう}1^{ねん}年^{せい}生^こは^こた^は答^はえ^られ^ませ^んよ^とい^う話^{はなし}に^なっ^てし^まっ^て、で^あれ^ば、あ^る程^{ていど}度^{われわれ}、我^{だん}々^{かい}の^段階^{かい}で、

こ^のま^でで^いい^んじ^ゃな^いん^です^かと^いう^とこ^ろは^{すこ}し^{じょ}助^{げん}言^ごを^でき^たほ^うが、皆^{みな}さ^んの^ふた^んか^ん負^ふ担^{たん}感^{かん}と^か、

不^ふ安^{あん}と^いう^もの^も軽^{けい}減^{げん}は^でき^るか^なと^おも^って、も^とも^とは^そこ^にあ^るん^です。学^が校^{こう}に^な投^なげ^ると^きに^こま

っ^てし^まう^かな^とい^うの^があ^って、そ^んな^こと^言わ^れて^もこ^の調^{てい}査^さは^でき^ない^よと^いう^と、や^りた^い

こ^とと^現状^{げんじやう}の^おギャ^いップ^みが^かな^りあ^るか^なと^おも^うの^で、そ^うい^う意^い味^みだ^と私^わた^しは^もう^{すこ}し^し絞^{しぼ}っ^たほ^うが

いいのかと。^{しほ}絞^{だんかい}った^{ぜったいてき}段階^{ひと}で、いや^{ひと}絶対^{ひと}的にヘルパー^{こた}の人が必要^{こた}でしようという人^{こた}たちばかりが答^{こた}えるから、やっぱりヘルパー^{ふそく}不足^{はなし}だねという話^{おも}になると思う^{すこ}んですけれども、であれば少し^{はばひろ}ちょっと幅^{はばひろ}広^{はばひろ}くするとか、対^{たいしょうがくねん}象^{ひろ}学年^{ひろ}を広^{ひろ}げるとか、例^{たと}えば小^{しょうがっこう}学^{ねんせい}校^{いじょう}5年生^{ねんせい}以上^{ねんせい}にしますと^{ねんせい}か、そうすると4年生^{ねんせい}ま^{ねんせい}での子^こは拾^{ひろ}えないのかというところ^{おも}があると思う^{すこ}んですけれども、ただ、そこ^{すこ}のところ^{かんけいせい}は少^{かんけいせい}し関^{かんけいせい}係^{かんけいせい}性^{かんけいせい}の中^{なか}で困^{こま}っているだ^{かた}ろうという方^{こへつ}に個^{ねが}別^{ねが}にア^{ひろ}ンケ^{ひろ}ー^{ひろ}トを^{ひろ}お願^{ひろ}いするとい^{ひろ}うところ^{ひろ}で拾^{ひろ}っていくとい^{ひろ}うのは1つ^{おも}でできること^{おも}かなと思^{わたし}っていますので、私^{しんぱい}の心^{しんぱい}配^{しんぱい}の1つ^{しんぱい}は、学^{がっこう}校^なに投^なげるときに、やみくも^なに投^なげてしま^なうと多^た分^た学^{たぶん}校^{がっこう}が困^{こま}りますよとい^{はなし}う話^{はなし}が1つと、あ^{だいしょうはんい}と、対^{だいしょうはんい}象^{だいしょうはんい}範^{かせつ}圍^たは、こ^{かせつ}の仮^た説^{かせつ}を立^たてるの^{かせつ}であれば、これにの^{けんしょう}っと^{けんしょう}った検^{けんしょう}証^{けんしょう}がで^{けんしょう}きるよ^{けんしょう}うなア^{けんしょう}ンケ^{けんしょう}ー^{けんしょう}トを^{けんしょう}するとい^{けんしょう}うのでい^{けんしょう}いん^{けんしょう}じゃ^{けんしょう}ない^{けんしょう}かな^{けんしょう}と思^{けんしょう}いました。

【議長】^{ぎちょう} あり^{ぎちょう}がとうござ^{かた}います。傍^{はつげん}聴^{はつげん}の方^{はつげん}の発^{はつげん}言^{はつげん}はで^{はつげん}きますか。――ち^ちょっ^ちとごめ^ちんなさいとい^ちうこと^ちみたいで^ちす。

【事務局】^{じむきょく} 部^ぶ会^{かい}で話^{はな}す中^{なか}でも、最^{さい}初^{しよ}、そ^{さい}の対^{だい}象^{しよ}を特^{とく}別^{べつ}支^し援^{えん}学^が校^{っこう}にす^てるとか^{しよ}しない、手^て帳^{ちやう}を所^{しよ}持^じして^{しよ}いる方^{ちい}にし^{ちい}ようとい^{ちい}うこと^{ちい}も議^{ちい}論^いされ^いたん^いですけれ^いども、そ^いの中^いで、実^いはこの事^い例^いとい^いうのは、地^ち域^い課^い題^い、各^か相^か談^か事^か業^か所^かの^かほ^かう^かから、実^じ際^じに日^じ々^じ御^じ利^じ用^じ者^じさん^じから相^じ談^じを受^じける中^じで出^じてき^じたお困^{こま}りご^{こま}と^{こま}を^{こま}抽^{ちゆう}出^{しゆつ}して^{しゆつ}いて、実^じ際^じ、通^じ学^じとか移^じ動^じの問^じ題^じで困^{かた}っている方^{はじ}が^{はじ}いるとい^{はじ}うところ^{はじ}から始^{はじ}まっ^{はじ}ている^{はじ}ん^{はじ}ですけれ^{はじ}ども、そ^{はじ}の中^{はじ}で、私^{わたし}た^{わたし}ち^{わたし}の思^{おも}いとし^{おも}て、そ^いも^いそ^いも移^い動^い支^い援^い事^い業^い所^いが^いない^いから、使^{つか}えな^{つか}いか^{つか}ら、手^て帳^{ちやう}や受^{じゆき}給^{じゆき}者^{じゆき}証^{じゆき}を取^{しゆとく}得^{しゆとく}して^{しゆとく}いないとい^{かた}う方^{かた}もい^{かた}らっ^{かた}しゃ^{かた}たり^{かた}するとい^{げん}うその現^{げん}状^{じよう}を、も^{かた}う^{かた}ち^{かた}よ^{かた}っ^{かた}と具^く体^{たい}的^{てき}に調^{ちやう}査^さし^{ちやう}たい^{ちやう}と思^{おも}うと、限^{げん}定^{てい}する^{げん}の^{ちい}で^{ちい}なく、地^{ちい}域^がの学^が校^がに通^かっ^かて^かい^からっ^かしゃ^かる方^{かた}にも、

じつ ほんとう こま 実際は本当は困っているんだよねというようなこともアンケートで知れたらいいよねという思いもあっ

たんです。でも、^{じっさい}実際にアンケートを^と取ると、^{かんが}考えると、その^{へん}辺の^{けんしやう}検証の^ば場をもうちょっと^{かんが}考
えないといけないのかなとは思いました。

あとは、^{ほ ご し ゃ かた}保護者の方を対象に^{だいしやう}最初^{さいしよかんが}考えたりもしていたんですけども、^{こ さ ま ご ほん に ん}お子様の御本人というこ
とも^{きやうかうかが}今日^{かんが}伺って、^{かんが}そこもそうだなと考えました。

【事務局】 ^{じむきよく}ご^{してき なか}指摘の中で、^{けい い なか}経緯の中で、^{しやうこうもく こま}まず、この小項目、^あ困りごとというのをまずばあっと^あ挙
げました。その後、^{ご われわれ}我々が^{せいり}整理するときに、^{にんしき}認識しやすいようにヘルパー^{ふそく}不足とかいろいろ^わ分けてい
るので、^{ふそく なんぱー}たしかヘルパー不足はNo.5の^{しげんふそく}資源不足でもあるし、^{せいど もんだい}制度の問題でもあるし、^あどれにも^あ当て
はまっているんですけども、ヘルパー^{ふそく}不足ということを^{ぜんてい}前提に^{さいしよ}最初、^{かんが}考^{はじ}え始めたということではな
く、^{こま}まず^{そうだんじぎやうしよ}困りごとを^{あつ}相談事業所が^あ集まらせていただいているので^{せいり}挙げました。そして^{せいり}整理をしました。
^{いちおう}一応ここに^わ分けているということですので、ヘルパー^{ふそく}不足に^{げんてい}限定して^{かんが}考^あえているということではご
ざいませんということは^そ添えさせていただきます。

【事務局】 ^{じむきよく}小島^{こじま}さんがいらっしゃるのでちょっとお聞きしたいんですけども、^き部会^{ぶかい}で^{はなし}話^あをしたと
きに、^{がっこう}学校は、^{わたし}私は^{ちやくせつし}直接知らないんですけども、^{じどうせいと}アプリで^{おや}児童生徒と^{とお}親が、そのアプリを通して
^{しつもん}質問、アンケートを^な投げかけると、^{ぜんいん}全員の^いところに行くと、^{もど}すると^{しゅうけい}戻ってくると^あ集計しやすいとか、
そういう^{あん}案も^で出たんですけども、そういうのは^{つか}使えたりするんでしょうか。

【構成員】 ^{こうせいいん}実際のアンケートの^{じっさい}取り方の^と話^{かた}だと思^{はなし}うので、アンケートは^{おも}様々な^{さまざま}やり方があるかなと
^{おも}思っています。^{しやくしよ}市役所だと^ろL o ^ゴG o フォームというアンケートシステムが^あつくれるのもあるので、そ

れでアンケートをつくっていただいて、そのURLまたはQRコードを例えば保護者に出すのであ

れば、すぐーるという学校保護者連絡システムというのがありますので、教育委員会から全部、全家庭

に投げるということもできます。ただ、強制的にはできませんので、任意回答という形になるかな

と思いますので、そういう回答の仕方というのは1つできるかと思います。それは保護者向けの話で

す。

もう一つが、子ども向けに関しては、子どもはすぐーるを持っていませんので、そういうシステム

はありませんので、これもURL、もしくはQRコードがあれば、各クラス、クラスルームという

のがあります。クラスルームという掲示板みたいな感じで、そこに貼り付けて、そこをクリックして

もらって、担任の先生に言って、ちょっと時間少しつくってくださいという形で回答してもらおうとい

うのはできるかなとは思いますが。ただ、低学年は難しい。キーボードを打てる、打てないというのが

あって、あとは、理解度の違いがありますので、文章をやさしく載せたとしても、子どもが理解が追

いついていない場合は本当にその子の気持ちに合った回答ができていますか。これはチェックボタンで

選択したとしてもです。というところがあるので、そのところは発達段階に応じたアンケートを取

る。取るのか、取らないという選択肢も1つあるかなと思っています。比較的3年生以上だと、きち

んと答えられるとは思いますが、アンケートをつくるのであれば、よくある子ども向けと

大人向けで2パターンつくって、少しそこはやり方を変えていくというところは必要だと思っています

す。あとは回答の仕方も、チェックボタンで終わるようなものであれば、比較的回答数は増える、回答

は見込めるかと思いますが、自由記述とかをつくと結構時間を取られるので。

よう がっこう せんせい い じゅぎょう い
要するに学校の先生から言われてしまうのは、これは授業としてカウントしますかとかが言われて
しまっ、いや、これは授業じゃないので授業以外ですとか、できれば長くても10分ぐらいで回答
できるようなアンケートのほうがいいのかなと思います。この時代、紙でなかなかアンケートすると、
しゅうけい たいへん つか おも
集計するほうも大変ですので、ネットを使ってやるほうがいいのかなとは思っています。

ぎちょう いま はなし じたい
【議長】 今みたいなお話をワーキンググループ自体でやるというのはどうなんでしょうか。

じむきょく ほんとう
【事務局】 そうですね。本当ですね。

ぎちょう こじま はい
【議長】 いかがですか。小島さんが入ってくださる。

こうせいいん がっこう かん わたし かか おも ねが
【構成員】 学校に関しては、私が関わることになると思いますので、よろしくお願いします。

こうせいいん おそ もう わけ はなし しつれい たぶん
【構成員】 遅くなって申し訳なくて、お話があったことであれば失礼いたしますけれども、多分、

いま こじまこうせいいん はなし しな い こうりつしょうちゅうがっこう めい
今、小島構成員がお話ししているとは、市内の公立小中学校だけというところで4500名という

い たぶん み こうこう はい たぶんこうこう とりつ
ことを言っておりますので、多分ここを見ますと、高校とかも入っていると、多分高校は都立とか、

しりつ さき たいしょう はなし へん
もしくは私立、先ほど対象をどうするのかというお話もありますけれども、その辺のアプローチの

しかた すべ こじまこうせいいん かたち たいしょうしゃ もうら みな ごしょうち
仕方、全て小島構成員の形でこの対象者を網羅できないというところ、皆さん、もしかしたら御承知

ぜんてい くす たいへん おも はつげん
おきかもしれないんですけども、ちょっと前提が崩れると大変かなと思いましたので、発言させて

いただきました。

ぎちょう なが いっだんきゅうけい い
【議長】 それでは、ちょっと長くなってしまったので一旦休憩を入れたいんですけども、よろし

ふん ねが
いでしょうか。10分までお願いします。

きゅうけい
(休憩)

【議長】 では、再開いたします。今、1の登下校の実態調査というところで議論をたくさんいただい

てきましたので、また1回これを持ち帰って検討していきたいと思います。

その次のヘルパー魅力発信、3の理解・差別理解不足のところについて、何かご意見いただければ

と思います。

【構成員】 だんだんと議論の内容が分かってきたので、やっと意見が言えるかなという感じで聞い

ています。1にも多分つながってくるのだとは思いますが、魅力発信が小項目のところから

拾うと、たとえば移動支援とかそこら辺のヘルパーさんのイメージで語られているのかなと思っている

んですが、私どもが支援している対象者は、精神と、難病患者さんと、重症心身障害児、

医療的ケアの療養の初期のあたりを結構中心に関わっているんですが、どの分野でも結構ヘルパー

さんはすごく欠かせないんですね。特に難病の方に関しては、人工呼吸器、気管切開している方は24

時間やっぱりヘルパーさんが必要なので、そのあたりも本当にヘルパー不足だねみたいところで挙

げられている一方、本当に1人で、単身で生活している方もおかげさまでいたりするので、そのあた

りの魅力発信をお願いしたいなと思っていますし、精神しょうがいしゃの部分では、本当にお食事を

一緒に作りながらとか、掃除をしながら、会話をすることで地域生活がすごく安定している方がある

ので、最初の議論を聞いていたときに、これも絞ったほうがいいのかなと思いながら聞いていたんで

すけれども、魅力っていろいろあるんだろうなと思っているので、ぜひどんな魅力があるのかという

ところでは、ヘルパー事業所のことはあまり詳しくないので、ぜひそのあたりで魅力を聞いていた

だきつつ、利用されている当事者の方についても、ヘルパーさんで生活が成り立っている方はたくさ

んいる^{おも}と思いますので、そのあたりの魅力^{みりょく}もぜひ^き聞いていただき、まとめたものを上手^{しょうす}に発信^{はっしん}できる
とい^{おも}いかなと思いました。

【議長】^{ぎちよう} これはなびい^{かか}さんが関わっていますけれども、何か^{なに}あったらお願い^{ねが}します。

【事務局】^{じむきょく} 励^{はげ}みになるようなことを言^いっていただいて、うれしいです。やはり高^{こうれい}齢のヘルパーさん
とは違^{ちが}うよね、しょうがい^{おも}のヘルパーさんはということと、やっぱりできるかもって思われるような
魅力^{みりょく}発信^{はっしん}がないと集^{あつ}まらないだろう、時給^{じきゅう}の問題^{もんだい}だけではないんだというところを切り口^きにして発信^{くち}
できる^{はっしん}といいねという話^{はなし}は今^{いま}しています。

実際に社^{じっさい}協^{しゃきよう}さんも取^とり組^くんでいらっしゃるというところも聞^ききましたので、どのような取組^{とりぐみ}かを
教^{おし}えてもらいながら、場^ば合^{あい}によってはタイアップみたいなこととか、そういうことも自^じ立^{りつ}支^{えん}援^{きようぎ}協^{かい}議^{かい}会
として^{かんが}は考^{はなし}えていきたいなということもお話^{はなし}をしました。

【議長】^{ぎちよう} 吉埜^{よしの}さん、具^ぐ体的^{たいてき}にこんなのもどうかしらという何かご意^い見^{けん}あ^{おも}ったと思うんですけれども。

【事務局】^{じむきょく} うちの息子^{むすこ}が武蔵台学^{むさしだいがくえん}園^{そつぎよう}を卒^い業^ましていまして、今^{いま}、府中市内^{ふちゅうしな}の就^{しゅう}労^{ろう}B^{びー}のほうに通^{つう}所^{しょ}し
ているんですけれども、通所先^{つうしょさき}からもらってきたプリントで、府中市役所^{ふちゅうしやくしょ}で流^{なが}すP R 動画^{びーあーるどうが}、福祉^{ふくし}に関^{かか}
わる事業所^{じぎょうしょ}だったと思うんですけれども、そのP R 動画^{おも}を流^{びーあーるどうが}すに当^{なが}たって、それぞれが楽^あしくお仕^{たの}事^しこ
して^{かつどう}いたりとか、活^{ようす}動^としているという様^{えいそう}子を撮^{なが}らせていただくかもしれないということと、映^{えい}像^{そう}、流^{なが}
していいですかという、許^き可^{よか}のプリントではあ^あったんですけれども、そう^{びーあーる}い^{しかた}ったP R の仕^し方^{かた}もあるな
と思^{おも}いました。

【議長】^{ぎちよう} 今^{いま}、このヘルパー魅力^{みりょく}発信^{はっしん}につい^{いけん}て意^い見^{けん}が^で出ていますけれども、何か皆^{みな}さんからご意^{いけん}見^{けん}、

かんそうとう
ご感想等がありますでしょうか。

こうせいいん わたし す そつぎょう かた じっさい き
【構成員】 私 のところは、もう18を過ぎて卒業されている方たちが実際に来ているので、なので、
がっこう とうげこう ぎゃく さぎょうじょ かよ おやこ
さっきみたいに学校の登下校とかというところよりも、逆に作業所に通えるところといって、親御さ
そうげい り ぜったい む り ひと さが そうげい
んが送迎できない、1人では絶対無理という人たちは、そういうところを探してしまう、送迎がある
さが おやこ おお いま じっさい り こ かた とちゅう
ところを探したいという親御さんがやっぱり多いですね。今、実際に1人で来られている方も途中で
もんだい お つか おやこ しゅう かい
問題を起こしたりとかやっぱりあるので、ヘルパーがやっぱり使いたいとか、親御さんが週に2回
むか こ む り そうげい
ぐらいしか迎えに来れないとかというと、無理をしてこちらでも送迎をしたりしなきゃいけなくな
かた じっさい けっきょく ふ そく も
たりする方も実際にいまして、それも結局ヘルパー不足というところに持っていくのかどうなのか
というところですね。

はなし か さき ふじた はなし
ちょっと話は変わっちゃいますけれども、先ほど藤田さんのほうからお話ありました。やっぱり
むかし じだいほんとう り かよ いっしょうけんめいおし じだい じゅうど
昔の時代、本当に1人で通えることを一生懸命教えていた時代がありまして、うちも重度だったん
たちかわよう がっこう いえ ふん り いっしょうけんめいかえ
ですけれども、立川養護学校から家まで10分ぐらいだったんですけれども、1人で一生懸命帰って
べんきょう かえ じ こ お り い
くる勉強して、帰ってきていたんですね。でも、事故を起こしたり、1人どこか行っちゃったりとか
いま まも おも
がやっぱりあるので、そういうことが今はないように、ないようにと守られているんだと思うんです
わる もんだい
けれども、どちらがいい悪いとかという問題じゃないんですけれども。

いま こはつ ほう むか ふつう おも
今、児発とか放デイでも、ほぼお迎えができてしまうので、あるものが普通だと思っていらっしゃ
おやこ おお おも おも さぎょうじょ さが なが
る親御さんがかなり多いと思うんです。もうやってくれるものだと思って作業所を探すという流れに
み と へん なに わたし むかし にんげん
なっているのがすごく見て取れるので、その辺が何か、私もちっとまだ昔の人間なので、それが

ちょっとまだいろいろ考^{かんが}え^ゆが^つ行き着かないところもたくさんあって。

ただ、ヘルパーに関しては、増^{かん}や^ふしてほしいというのは本当のところ^{ほんとう}で、余暇^{よ か つか き}を使い切れない人^{ひと}たちのやっぱりストレスとかは、作業^{さぎょう}を^わや^わっていてもすごい分かるので、やっぱり親御^{おやご}さんがまだ若^{わか}く
ていろんなところ^でに出^{かた}かけている方^とと、どん^{とし}どん^と年^とを取^とっていくので、もう親御^{おやご}さんが連^つれて行^いけな
い方^{かた}たちも、作業所^{さぎょうじょ}と家^{いえ}の往復^{おうふく}だ^みったりを見^みていると、やっぱり週^{しゅう}に1回^{かい}でもどこか行^いけたらな
か、でも、土日^{どにち}はもうほぼ取^とれない、2か月^{げつ}に1回^{かい}取^とればい^いほうだとかというの^かがあったり、あ
とは病^{びょういん}院^{いん}にや^つっぱり連^つれて^{ほんとう}ってもらえないというの^かがあったり、それはもう本^{ほん}当^{とう}に、グルー^ぐー^ーホー^ーム
をや^りっているん^{りょうほ}ですけれ^つども、そ^いちら^りでも1人^{ひと}で寮母^{りょうぼ}が連^つれて行^いけな^りい、1人^{ひと}の人^{ひと}だけでき^いないとか、
もう全^{ぜん}部^ぶそ^かこはヘルパーに^か関わ^かってき^かちゃうの^かかなというところ^かがどう^かなん^かだろう^かとは思^{おも}っているん
です。それ^{ほんとう}をア^あピ^いール^いして、本^{ほん}当^{とう}に、じゃ、平^{へい}日^{じつ}は朝^{あさ}と夕^{ゆう}方^{がた}だけ^{ひつよう}が必要^{どにち}ですとか、土日^{どにち}だけい^いっぱ^いい
き^きて^いく^いだ^いさい^いと言^はって^はも、果^はた^はして^はそれ^はをP^{ぴー}R^{あーる}して、ち^ちょ^ちょ^ちと^ちマイ^{まい}ナス^{なす}なイ^いメ^いー^いジ^じで^でご^ごめ^めん^んな^なさい、
ど^どう^どい^いう^うふ^ふう^うに、や^やり^りま^ます^すとい^いう^う人^{ひと}が^ふ増^ふえて^えく^くれ^れる^るの^のか^かな^なとい^いう^うの^のは^はち^ちょ^ちょ^ちと^と疑^ぎ問^{もん}に^{おも}思^{おも}っ^てい^いる^ると^とこ
ろ^ろです。

【議長】 今^{いま}の御^ご意^い見^{けん}を^き聞^きいて、事^じ務^む局^{きょく}の^なほう^{ほう}から何^{なに}かあ^あり^りま^ます^すか。

【事務局】 今^{いま}の石^{いし}原^{はら}さん^{さん}の答^{こた}え^えに^はな^なら^らない^いん^んですけれ^もども、ヘル^{へる}パー^{ぱー}の^{もんだい}問^{もん}題^{だい}だけ^では^はな^なく^くて、ス
ク^{ひよう}リー^りン^んグ^ぐ表^{ひょう}に^にあ^ある^ると^とお^おり、福^ふ祉^し業^{ぎょう}界^{かい}全^{ぜん}体^{たい}型^{けい}問^{もん}題^{だい}で、自^じ分^{ぶん}た^たち^ちが^{じゅうじ}従^{じゅう}事^じし^して^てい^いる^る仕^し事^{ごと}の^{みりよく}魅^め力^{りき}とい^いう
もの^いを^いも^もっ^てい^いか^かな^ない^いと、な^なか^かな^なか^か人^{ひと}は^こ来^きない^い。ま^まず^ずは^はヘル^{へる}パー^{ぱー}さん^{さん}は^はど^どの^のし^しょう^{しょう}が^{かた}い^いの^の方^{かた}に
と^とっ^ても、す^{しか}ぐ^くく死^{しか}活^{かつ}問^{もん}題^{だい}に^にな^なっ^てい^いる^るの^ので、こ^ここ^こから^はま^まず^ずは^は手^て始^はめ^めに^にや^やり^りな^なが^がら、全^{ぜん}体^{たい}に^{なに}何^{ひと}か^か人^{ひと}が

よ かん か おち こんかい く おち
呼べるような感じというのを描けていけたらいいと思いますし、今回やったからすぐ来るとは思わな
いということも話しています。これが、二、三年後に何かが起こってじわじわ出てくるということも
ふく はなし
含めてやってみようという話になっています。

じむきょく ほんじつごけっせき おお くぼ こいけん わたし だいどく
【事務局】 本日御欠席の太久保さんから御意見をいただいておりますので、私 のほうで代読させて
いただきますと思います。

てんめ みりょくはっしん てん しりょう なんばー ふそく ふくしぎょうかい
この2点目のヘルパーの魅力発信の点についてです。資料①のNo.1、ヘルパー不足の⑧福祉業界
の求人に応募が来ないというところからのアイデアだと思わうんですけれども、しょうがいのある方
のヘルパーさんだけでなく、こうれいしゃ かいご ひとでふそく つづ おち
のヘルパーさんだけでなく、高齢者の介護ヘルパーさんも人手不足が続いていると思われます。そし
て、おお げんいん ともな せきにん くら きゅうよ やすす い じっさい
大きな原因として、伴う責任などに比べて給与が安過ぎるとちまだでは言われています。実際の
しんぎ わ ふくしけい しごと たし せけんそうば きゅうよすいじゅん ひく おち
真偽は分かりませんが、福祉系のお仕事は確かに世間相場よりも給与水準は低いように思います。

こころざし かた しごと こんぽん たいぐう かん もんだい
それでも、志 のある方はヘルパーさんのお仕事をしてくださっています。根本の待遇に関する問題
ぎょうせい しごと おち じょうきょうか
は行政のお仕事だと思いますが、そのような状況下でヘルパーさんになりたい、なってもよいとい
うような人たちを増やすための情報発信はワーキンググループで詳細を検討されるということですが、
ターゲットを絞って進めていく必要があるのかと思います。

たと わか かた あと ふくしけい しごと
例えば若い方だと、キャリアパスといいますか、ヘルパーをした後に福祉系のどういう仕事につな
がっていくのかということを知りたいかもしれませんし、逆に、地サポではないですけども、子育て
けいけんしゃ かた てき しごと ふ
で経験者の方などにパートタイム的に仕事をしてもらってヘルパーさんを増やしていくのか、そうい
った点を踏まえて考えて進めていただければと思いますという御意見でございます。以上で代読さ

せていただきました。

【議長】 オンラインで参加のお二人はいかがでしょう。及川さんいかがですか。

【構成員】 なかなか大変だ大変だという下心というか、こちら側の意図が透けて見えてしまう
と、なかなかその情報も、いい情報も薄れてしまって、覆い被されて見えなくなってしまう部分も
あるかと思うので、心底いいところだけをクローズアップするような意見集約の場とか、実際に就労
されている方のやりがいであるとか、そういったことにスポットを当てて、そんなことにお互いが気
づきあえるような、それをもって、こんな張り合いとか、こんなやりがいを持ってとかという、そう
いうものが見つけられればいいのかなどと思っております。

【議長】 2のヘルパー魅力発信についてはほかの方、よろしいでしょうか。

では、順番にやっているわけではなかったんですけども、3の差別・理解不足についてはいかが
ですか。これは、ちょっと具体的にどんなことが出ていたかとかを紹介していただければと思いま
す。

では、中根さんからお願いします。

【事務局】 事例としては、さっき石原さんも言ってくれたように、市内の現場というのを、運転手
に舌打ちされていたとか、しょうがい理解がなくてバス内で騒いでいる人をどうしていいかわからな
いというお客さんとか、運転手がどうしていいかわからないということもあるので、そういう事例が
ありました。

あとは、何でバスにしたかという、やっぱり移動手段で、しょうがいの人というのは、バスを使

いたいんだけど、バスに^の乗るのが^{こわ}怖い。ほかのお客^{きやく}さんに迷惑^{めいわく}をかけちゃいけないんだとか、

車椅子^{くるまいす}だったらスロープとかを^だ出さなきゃいけないですから、その時間^{じかん}が^{なが}長くて、やっぱり^{まわ}周りの目^め

を^き気にしてしまう。それで、バスの運転手^{うんでんしゅ}も、そのことがよく^わ分からないで対応^{たいおう}してしまうというの

で、バスの運転手^{うんでんしゅ}としょうがいについて差別^{さべつ}について共有^{きょうゆう}していればなと思っています。

【議長^{ぎちやう}】 いうところで、当事者^{とうじしや}の方に参加^{かた}して^{さんか}いただいて、事例^{じれい}などを^{あつ}集めて、バス会社^{かいしや}に^{はなし}話を

するというのが、ワーキンググループ^{もくてき}の目的^{けいろ}になっています。これはちょっとほかのと毛色^{ちが}が違うん

ですけど、令和^{れいわ}6年^{ねん}4月^{がつ}の障害者^{しょうがいしや}差別^{さべつ}解消^{かいしょう}法^{ぽう}で、事業者^{じぎやうしや}にも合理的^{ごうりてき}配慮^{はいりよ}の提供^{ていきやう}が義務^{ぎむ}化^かされた

ということもあるので、このタイミングで会社^{かいしや}がどんなふう^{かた}にしょうがいのある方^みを見たり、考^{かんが}えた

りしているかなというのを聞いていくというのもあるかなというところ^だで出されています。

風間^{かざま}さんとか、いかがですか。実際にバス乗ってきたから。

【構成員^{こうせいいん}】 私^{わたし}は、バスに^の乗るときは、特定^{とくてい}の場面^{ばめん}とかを経験^{けいけん}したことはないんですけども、差別^{さべつ}

ということでいえば、精神^{せいしん}しょうがい^{ろこつ}が露骨^{さべつ}に差別^{さべつ}されることはなくなってきました。ただ、自分^{じぶん}

はこういう病気^{びやうき}なんだよねと話^{はな}したときに、何か^{なに}下^{した}に見^みられるというのがありますね。

【議長^{ぎちやう}】 今の現^{いま}状^{げんじやう}だと、手帳^{てちやう}を出^だして払^{はら}わないと割引^わ引^びかれ^びないというのがありますかね。

ほかの方^{かた}、いかがでしょうか。

【構成員^{こうせいいん}】 先^{さき}ほど笠井^{かさい}さんがおっしゃったように、合理的^{ごうりてき}配慮^{はいりよ}義務^{ぎむ}はもう義務^{ぎむ}化^かされているので、

特^{とく}に事業所^{じぎやうしよ}にとっては、これが絶対^{ぜったい}事項^{じこう}というか、配慮^{はいりよ}しなければいけない事項^{じこう}なので、ちょっと先^{さき}

ほど見^みたらやっぱりバス会社^{かいしや}とか、公^{こう}共^き交^{きやう}通^{つう}機^き関^{かん}のほうも、ちゃんとしたマニュアルとかそういった

ものを出していることもあったりするし、^だ実際^{じっさい}それはもうやるべきことなので、アンケートを取ると
か^{もんだい}そういう問題ではなく、^{しょうじき}正直^{かいしゃ}言^{じぶん}って、バス会社に、自分たちはこういうもので、^{きょういく}こういう教育の
一環^{いっかん}としてバス会社のほうで^{かいしゃ}学習会^{がくしゅうかい}を開いてほしいとか、^{もう}そういう申し出をしたほうがいいのかな
というレベルで^{かんが}考^{おも}えてもいいことかなと思いました。^{くにたち}国立^{たちかわ}でいえば、立川バスとか京王バスなのかな
と^{おも}思うんですけれども。

というも、^{こよう}しょうがいしゃ^{ぶんや}雇用の分野で、^{じつ}実は^{じっさい}実際もうこれは結構^{けっこう}うちの管轄^{かんかつ}でいうと、^{とうきょう}東京
^{ろうどうきょく}労働局とか、^{きょうせいしょかん}そういう行政所管に、^こもう^こ個々で^{けっこう}結構^で訴^{じょうきょう}えとかばんばん出ている状^{じょうきょう}況^{じょうきょう}なんです。た
だ、^しそこまで^{かんよ}市として関与するというよりも、^{りかい}やっぱり^{だいじ}そういう理解^{だいじ}をしていただくということが大事
なのかなというところで、^{おおやけ}公^{きかく}にこちらからこういう企画^もを持っていくとか、^もそういうことをやって
^{おも}みてはどうかなと思いました。もちろんアンケートすることが意味がないということではなくて、^{あらた}改
めて^{こま}こういうことで^{ひと}困^しっている人を知っているから、^{かいしゃとう}バス会社等に^{がくしゅうかい}学習会^{ひら}を開きませんかとか、^もそう
いうふう^もに^{おも}持って^{おも}いてもいいのかなと思いました。

^{けっきょく}結局、^{ふそく}ヘルパー不足も^{ほく}そう^{かん}なんですけれども、^{ふくしぎょうかい}僕^{とく}が^{こじんじょうほう}感じることは、福祉業界が、^ほ特に^ご個人情報保護
とか、それはいいことだとは思^{おも}うんですけれども、^{げんそくか}そういったこと^{すす}によって、さらに原則化が進んで
いるというところもあると思^{おも}うんです。^{こじんじょうほう}個人情報とかは^{だいじ}大事な^{りかい}ことだと理解^{いっぽう}しているんですが、一方
で^わやっぱり^み分かりにくさとか、^{ろてい}見えづらさというの^{ぎょうせい}も^しちょっと露呈^ししている。行政も市のイベント、
^{ふくし}福祉まつりだとか、^{だいじ}そういったことは^{おも}大事だと思^{おも}うんですけれども、^みそういったことがなかなか見え
づらいです。^{とく}こちらから^いちゃんと^い取り組んでいく意味があるのかなと思いました。^{おも}声^{こえ}が^き聞き取りづら

くてすみません。

【議長】 大事な御意見をいただきました。今のご意見いかがでしょうか。

【構成員】 貴重なご意見をいただいたなとは思いますが、今回のワーキンググループとして、学習会の企画を持っていくみたいなどころまでもやれたらいいねという案も出ていたかと思うんですが、もちろん合理的配慮をしなければいけないということも当然なんですけれども、それをよく理解できていない、できていないと言ったら言い方は変ですけども、バス会社からの困っていることも実はいろいろあるんじゃないかということも部会のメンバーと協議している中で出てきてまして、こちらから困っているからこうしてほしいということを一方向的に伝えたりとか、そういうことをするのではなく、歩み寄りしたいというか……。本当は分かっているからいいことではないことではないかという言い方ではなく、こういうことで困って、こちらはしょうがいしゃの皆さんとか、そういうチームの皆さんが困っていることがあるので、協議の場にまずは乗っかってほしいというんですか、あまり敵対するのではなく、同じ土俵に立ってもらってからいろいろ改善していけるようなワーキンググループにしたいということで今はまとまっています。

【議長】 荒木さんの提案も、恐らく建設的対話に向けた学習会ということでおっしゃっていただいたと思うんですが、その辺、うなづいていただいている津田さん、いかがですか。

【構成員】 ちょっと違った観点になるかもしれませんが、これも市の取組として、平成14年からコミュニティバスのくにっこというのを始めています。多分そのあたりでまだ足りていないとかいろいろあるかと思いますが、こちら立川事業所さんとも行っているところもございますの

で、そういう中で、市でいますと道路交通課が所管になったりしますので、どんなふうな意見があって、どうできているとか、ここが難しいんだとか、そのあたりも事前にお話しをしながら内容を決めていながらというほうが、よりスマートにいくのかなと感じております。

【構成員】 国立市の第3次しょうがいしゃ計画の中で、職員に対してのいわゆるガイドライン、これが国立はまた策定されていない理由、現状にちょっと私は驚きました。やはり国立市の職員がまずそのようなガイドラインの中で仕事をしていくということ、そのガイドラインができて、そのガイドラインの中身を様々な事業者にも、こういうものを通して私たちは仕事をしていきますので、ぜひその趣旨を御理解いただきたいというような流れは、私は必要だと思いましたので、ぜひ早急にと取り組んでいただきたいと思います。

【事務局】 御指摘ありがとうございます。ガイドライン、先生おっしゃるとおりできていないというような状況です。職員の研修そのものは、自立支援協議会にもご協力いただいてほぼ毎年度、職員課がやっている企業がやっているような合理的配慮の全員参加の研修の部分と、あと個別に、未受講の人に対する研修なんかを、自立支援協議会に御協力いただきながらやったりというので、職員の研修は進んでいるんですけども、確かにガイドライン、こういうふうにやるべきだみたいなところはちょっとできていない部分がありまして、そこは我々としても、最終的につくるのは職員というか、事業所としてつくらなければいけないと思うんですけども、我々と一緒にやらせていただきたいなと考えておりますので、御指摘ありがとうございます。まさにそのとおりかなと思います。

【事務局】 困りごとなど、ちょっと合理的配慮義務のないバスの運転手がそういうことを多分分かっていないので、あと、しょうがいしゃも見えない内部しょうがいとかもあるので、本当に困っていることをまず洗い出して、そして、バス会社と話して協議しながら、その上で研修とかが今後出てくるかなという感じで考えています。

【構成員】 実は私が今見ているのは、公共交通事業者に向けた接遇ガイドラインというのが、多分、国土交通省から出ているんですね。それを見ると、高齢者とか、肢体不自由者とか、聴覚、視覚、発達、知的、精神、内部その他というふうにあるのと、あと、交通モードの対応についてというのは、バスとかタクシー、航空なんかといろいろあるので、恐らくこれは各事業所の手元にあるのかなと思っていて、ただ、今の話だとそれをうまく運用できていないんじゃないかなと思ってます。なので、情報は来ているが、中身につながっていないというのが気になって、それで先ほどのような発言をしたということです。なので、実態調査が悪いとかいうことではなくて、何度も言いますが、それが悪いとかいうわけではなくて、そのほかにも困っている人が増えないことを僕は望んでいるというか、やるなら早急にやったほうがいいというところが1つあります。

あわせて、今のお話でちょっと思い出したのが、職員のガイドラインもそうなんです。それから、差別解消条例みたいなのが国立にあったと思うんですが、それも実は改定されていないとか、それはしょうがい課に限らずだと思うんですけれども、そこら辺もちょっと気にはなっていましたけれども、内容は今僕も見えていないので何とも言えないんですが、そこら辺もご検討、心がけというわけではないんですが、市のほうには考えていただけるとありがたいなと思いました。

【議長】 今のは市の条例ですか。

【事務局】 荒木さん、内容をもう一度お願いできますか。

【構成員】 国立市人権を尊重して多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例ですかね。

【事務局】 条例の中身についてどうですかね。

【構成員】 これも、人権とか、差別とかに関係するものなのでそちらの見直しが、できたのが前になるので、見直されているのかちょっとそこら辺は、すみません僕もできていないんですが、一応検討してみる必要があるのかなと思いましたということです。

【事務局】 ちょっと内容を見させていただいて進めさせていただければと思います。人権とか差別というところに関して、令和6年の4月以降の差別解消法の改正に伴って、もう少し内容を現状にブラッシュアップしたほうがいいんじゃないかというご意見ということですか。

【構成員】 そのとおりです。

【事務局】 検討させていただきたいと思います。

【議長】 では、そろそろお時間も来ますので、もうちょっとここを発言したいかなという方はいらっしやいますか。大丈夫でしょうか。事務局のほうも大丈夫ですか。市川さんお願いします。

【事務局】 決まったことと決まっていないことと、今後の段取りが少し見えてくると事務局として進めやすいかなと感じているんですが、ワーキンググループの設置については、どうのご判断と
うか、ご意見というか、賜って進めていくというふうに認識しているんですけども。

【議長】 この3つでいいかどうかということでもいいですね。

【事務局】 ^{じむきょく} 3つと^{ないよう}内容と。

【議長】 ^{ぎちよう} おおむねこの^{ほうこう}方向で^{すす}進めていってよろしいでしょうか。大丈夫^{だいじょうぶ}でしょうか。

ありがとうございます。

【事務局】 ^{じむきょく} 先ほどの^{ぎろん}議論ですと、1つ目の^めワーキンググループの^{たいしょう}ところは、^{たいしょう}対象をどうするか

たいな^{ぎろん}議論もありましたけれども、そこは一旦^{いったん}3つの^{ほうこうせい}方向性はいいけれども、1の^めワーキンググループ

の^{たいしょう}対象については、もう少し^{すこ}具体的なところまで^{しほ}絞って^{すす}進めたほうがよいというような^{ごいけん}御意見と

いうか、そういった^{ほうこう}方向で^{すす}進めていくということではよろしいでしょうか。

【議長】 ^{ぎちよう} 私^{わたし}が^{さいご}最後に、それも^{けんとう}ワーキンググループで^{けんとう}検討するのはいかがですかと^{もう}申し上げたんです

が、1について、その^{たいしょう}対象も含め、アンケートの^と取り方も^{かた}含め、^{けんとう}ワーキンググループで^{けんとう}検討していく

ということでもよろしいでしょうか、もうちょっと^{しほ}絞ったほうがいいでしょうか。

【構成員】 ^{こうせいいん} 縦^{たてわ}割りで^{ぼく}僕が^{かんが}考えたわけですが、^{かかりちょう}係長は、^{じりつしえんきょうぎかい}自立支援協議会ということ^{かんが}を考えた

ると、まずは^{かんが}しょうがいしゃと^{おも}考えてもいいのかなと思いました。すみません、別に^{べつ}縦割りで^{たてわ}考えた^{かんが}

たわけではないんですが、そこに^あスポットを^{かんが}当ててというところから^{おも}考えてもいいのかなと思いま

した。

【議長】 ^{ぎちよう} そうしたら、もう1回^{かいふかい}部会で^{けんとう}検討するということになりますか。^{じむきょく}事務局の^{なに}ほうで何か。

【事務局】 ^{じむきょく} 全体会のお^{ぜんたいかい}話を^{はなし}聞いて^{すす}進めていくという^{はんとしかん}スキームであるとすると、^{けんとう}半年間この^{けんとう}まま^{けんとう}検討

を^{かさ}重ねるという^{けつろん}結論ですか。^{ぶかい}部会に^も持ち^{かえ}帰るとするのは。

【議長】 ^{ぎちよう} ^{たいしょう}対象をどうするか。

【事務局】 対象をどうするかを決めたらワーキングで進めていいということですか。

【議長】 というのを今確認したほうがいいですかね。

【事務局】 はい。

【議長】 部会で対象者をもう1回絞って、その後ワーキンググループを進めていってよろしいかということをお伺いいたします。

【構成員】 それをお願いします。

【議長】 ありがとうございます。

【事務局】 もしかしたら、皆さん全体会の構成員の方が、もう1回部会を開いて、その上で決めてからワーキングをするということと、ワーキングでそのことを決めるということの違いが、何が違うのという感じなのかもしれないなと思って、補足です。

すごく具体的な言い方をすれば、今協議部会の中で、誰がどの部会に入るか3つに分かれて、入らない委員もいるんですけども、この全体会後に、もうワーキングが3つに分かれてそれぞれスタートするか、それとも、この全体会で、この内容はもう一度部会全体で話し合う必要があるという御意見が出て、そういうご判断になったら、もう1回全体の部会をやる。後、別れる。どちらになるだろうというあたりで聞いております。

【構成員】 私が先ほどお願いしますと言ったのは、白川さんがおっしゃった、もうある程度方向性が決まって、あとは部会の中で調査方法とか、小島さんの知恵とか知見とかそういうものをすり合わせていただいて、何か大がかりなスキームで話し合いをするということではなくて、もう方向性が決ま

っているので進^{すす}めていただければという意見^{いけん}でした。

【事務局】 そうしましたら、ワーキングの2と3^{かん}に関してはもうこのままワーキンググループとい^{かたち}う形^{かたち}でスタートして、ワーキングの1^{かん}に関しては、もう少し対^{すこ}象^{たいしょう}のところを部会^{ぶかい}でもんでからワーキングのほうに落^おとして進^{すす}めるという形^{かたち}でよろしいかなと、今のお話^{いま はなし}をまとめると思^{おも}うんですけれども、違^{ちが}いますか。

【議長】 ワーキンググループの中で対^{なか}象^{たいしょう}者^{しゃ}を決^きめるということでよろしいでしょうか。

では、今後^{こんご ほうこうせい}の方向性^{きやうせい}について、予定^{よてい}と併^{あわ}せて事務局^{じむきょく}から願^{ねが}いします。

【事務局】 資料^{しりょう}③です。今日^{きょう}は非常^{ひじょう}に活発^{かつぱつ}な御意見^{ごいけん}を皆様^{みなさま}からいただき、ありがとうございました。

今後^{こんご}のスケジュールにつましましては、ここ^こに落^おとしておりです。全体会^{ぜんたいかい}が今日^{きょう}、10月下旬^{がつげしゅん}にあつて、次^{つぎ}が11月の初^{がつ しゅん}旬^{しゅん}に、一度部会^{いちどぶかい}をするという形^{かたち}で集^{あつ}まります。そこで、ワーキングの顔合^{かおあ}わせがメインになるのかな。そこから、順次^{しゅんじ}、11月以降^{がついこう}ワーキングを始^{はじ}めていくという形^{かたち}になります。

1月^{がつ}に、事務局会議^{じむきょくかいぎ}を一度^{いちど}やって、これは地域課題協議部会^{ちいきかだいきょうぎぶかい}、2月^{がつ}にワーキングの進^{しん}捗^{ちやく}だったり内容^{ないよう}

を確認^{かくにん}して、3月^{がつ}の全体^{ぜんたい}に向けてどうしていくのかというところを詰^つめるための2月^{がつ}の部会^{ぶかい}になるかと思^{おも}いますけれども、その前^{まえ}に事務局会議^{じむきょくかいぎ}を1月^{がつ}に設^{もう}けております。

全体会^{ぜんたいかい}の前^{まえ}にもう一度事務局会議^{いちどじむきょくかいぎ}をやっ^{がつ}て、3月^{ぜんたいかい}の全体会^{にっけい}。まだ日程^{かてい}は確定^{かてい}できないですけれども、

3月^{がつ}の中^{ちゅう}旬^{じゅん}か下旬^{げしゅん}ぐらいに開催^{かいさい}予定^{よてい}の部会^{ぶかい}に備^{そな}えるというような形^{かたち}で、3月^{がつ}のその部会^{ぶかい}でワーキン^{しんちやく}ググループのそれぞれの進^{しん}捗^{ちやく}をまた報告^{ほうこく}させていただくという形^{かたち}で、今後^{こんご}、下半期^{しもはんき}進^{すす}めさせていた^{おも}だきたいと思^{おも}います。また、3月^{がつ}の全体会^{ぜんたいかい}の場^ばで報告^{ほうこく}させていただいたこと^{たい}に対しての御意見^{ごいけん}等々^{とうとう}を

みなさま おも ねが
皆様からいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

【議長】 ぎちよう がつ ちいき かだい きょうぎふかい なか きょうで ごいけん みな つた はんえい
11月の地域課題協議部会の中でも、もちろん今日出た御意見を皆さんに伝えて反映させて

いきたいとおも
いきたいと思います。

あと てん 1点、ワーキンググループになり得なかった課題等について、いしかわ
石川さん、よろしいですか。

【事務局】 じむきょく きょうぎ ば はな
ワーキンググループではなくて、ほかの協議の場で話すほうがよいのではないかという

ふうで しゅ しりよう そうだんし え んれんらくかい か
ふうに出たものもあって、主には資料①の相談支援連絡会と書いてあるんですけども、ただ、まだ

こことせいり かんぜん し き ごんかい
ここと整理を完全に仕切っていないところがあるのが1つあって、今回、ワーキングが3つできてそ

れで はし だ はなし いっぽう みちやくしゅ せいり
れで走り出すという話なんですけれども、一方で、未着手だという、そのまだ整理ができていない、

スクリーニング 表 ひょう ぶぶん こうつうせいり ようそ いく
スクリーニング表の部分でまだちょっと交通整理ができていない要素がいくつかありますので、その

てん こんごはなし あ かだい
点について、今後話し合っていくのかどうかということも1つ課題としてはあるんですけども、

いったん すす しんちやく ぶかい み かん かんが
一旦ワーキングを進めていって、その進捗を部会のほうで見ていくというような感じで考えている

ということ です。 ほそく
ということです。補足はありますか。

【議長】 ぎちよう ごしつもん だいじょうぶ じかんまるまるこくろう つか
御質問は大丈夫でしょうか。それでは、2時間丸々御苦労さまでした。お疲れさまです。

【事務局】 じむきょく だい かい ぜんたいかい しゅうりよう おも みなさま いそが こ
では、これで第1回の全体会を終了したいと思います。皆様、お忙しいところお越し

いただきありがとうございます。 また よろしく ねが
いただきます。またよろしくお願いします。